

14 Let's Try! 2

行ってみたい場所を伝えよう

英語監修・出演 阿野 幸一

きょうの目標 行ってみたい場所について説明することができる

- 行く目的を説明する
- 行けばできることを説明する

文法・表現 不定詞、情報のまとめ方

行く目的を説明する

次の2つの文を見てみましょう。

I want to go to Australia.

(私はオーストラリアへ行きたいです)

I want to hold a koala.

(私はコアラを抱っこしたいです)

どちらもI(私)がしたいと思っていることを述べた文ですが、それぞれが独立した文になっていて、2つの文の関係を示すことができいていません。この2つの文の情報をまとめるには、以下の2つの方法が考えられます。

- (1) 時間の流れに沿って説明する —— and でつなぐ

I want to go to Australia and hold a koala.

(私は、オーストラリアへ行ってコアラを抱っこしたいです)

つまり

I want to go to Australia	オーストラリアへ行って
and	そして
hold a koala.	コアラを抱っこしたい

のような時間の流れに沿って説明しています。

- (2) 行動の目的を説明する —— to でつなぐ

I want to go to Australia to hold a koala.

(私は、コアラを抱っこするためにオーストラリアへ行きたいです)

この文では、「オーストラリアへ行く」ことの目的を表すために、「～をするために」という **to** を使って **to hold a koala**（コアラを抱っこするために）と表現しています。同様の表現を見てみましょう。

I want to go to Finland to meet the real Santa Claus.

（私は、本物のサンタクロースに会うためにフィンランドへ行きたいです）

行けばできることを説明する

観光地などのおすすめポイントを伝えるための方法を考えてみましょう。次の文章は、パリにあるエッフェル塔について説明したものです。

The Eiffel Tower
 You can see the beautiful tower.
 From its top, you can enjoy splendid views.
 It's a great place to visit!

◀ 2行目と3行目の文では、それぞれ **can** を使うことで、「そこへ行けば、～することができる」と見どころを述べています。

You can see the beautiful tower.

（<そこへ行けば> 美しい塔を見ることができます）

From its top, you can enjoy splendid views.

（<そこへ行けば> 塔のてっぺんからすばらしい眺めを楽しむことができます）

ほかの例を見てみましょう。

the Great Barrier Reef, Australia

（オーストラリアのグレートバリアリーフ）

You can see beautiful coral reefs.

（<そこへ行けば> 美しいサンゴ礁を見ることができます）

Machu Picchu, Peru

（ペルーのマチュピチュ）

You can walk around the old city.

（<そこへ行けば> 古い都市を歩いてまわることができます）

また、次のようなキャッチフレーズを使うことで、読み手の関心をひくことができます。

It's too beautiful to be true.

(あまりに美しすぎて真実にはなりえない ➡ ありえないほど美しい)

Don't miss it!

(見逃してはいけません！ ➡ 見逃さないで！／絶対見てね！)

It's a highly recommended place!

(とってもおすすめの場所です！)

It's like paradise.

(楽園のようです。)

あの先生のこの話！



英語らしく発音するコツ

日本語では、音の長さによって言葉の意味の違いを表します。次の例を見てみましょう。

おばさん — おばあさん (発音 → おばーさん)
おじさん — おじいさん (発音 → おじーさん)

どちらも「ば」や「じ」を短く発音するか、長く伸ばすかによって意味が異なります。

しかし、英語では音の長さで単語を区別するのではなく、音そのものの違いで区別します。特に、英語で2つの母音(あ、い、う、え、お に当たる音)が連続する発音がありますが、カタカナ英語ではその音を伸ばして発音することがあるため、英語を発音するときには注意が必要です。例えば、日本語では「ケーキ」と言いますが、英語の **cake** の **a** の部分は「エー」と伸ばす音ではなく「エイ」のように、「エ」と言った後に、軽く「イ」を添えるようにして発音します。

同様に、次のような単語の下線部の発音も、伸ばすのではなく、「エイ」のようになるので注意して発音練習をしましょう。

ゲーム	game	テープ	tape	ネーム	name
テーブル	table	プレー	play	グレート	great